

データサイエンス共創研究会

～ データサイエンスで知識を共創する ～

実データを目の前にデータ駆動型アプローチを導入したいという状況で、

- ・ 解決したい実問題をどのように捉えればデータサイエンスの技術を適用できるか？
- ・ 期待すべき解決策とは？
- ・ 手元にあるデータから期待するべきではない解決策とは？



当研究会でできること・目的

新たな実問題を解決する時、データ解析で得られた結果を基にどのように思考を展開し、さらにどのようなデータを取るべきか？また、どのようなデータサイエンスの技術を開発するべきか？といった困りごとの経験はありませんか。

こういった問題は、多くの統計的手法の活用事例から学び、それらを応用する力を鍛える必要があります。当研究会では、各社様の最新の事例を持ち寄り、参加者の経験・知恵を共有することで、共創的に学習・研究する場を提供。参加企業の皆様のデータサイエンス応用力を伸ばすことを目的にしています。

概要

1) 座長

北陸先端科学技術大学院大学
共創インテリジェンス研究領域長 教授 ダム ヒョウチ

2) 開催スケジュール

頻度：年間で6回を予定（第1回：6月）
時間：1回2時間程度、平日の15時～17時
場所：北陸先端科学技術大学院大学内（石川県能美市）、およびオンライン



ダム ヒョウチ 教授

3) 内容

6月：オリエンテーション
7月：参加企業各社の取り組み事例紹介
8月：参加企業各社の取り組み事例紹介
9月：モデルテーマの分析・応用討議
10月：モデルテーマの分析・応用討議
11月：まとめ

進め方

参加各社におけるデータサイエンス技術の適用方法と想定する解析プランを説明し、得られた（期待される）結果を説明し、期待通りの解析結果が出るとき、期待はずれのときの対処案を説明して意見交換します。

その後、参加各社の中からモデルテーマを選択し、テーマ毎のグループに分かれて討議し、次の解析の展開を共創します。

4) 想定参加者 ※データの提供が可能な団体の参加を想定しています。参加には研究会が定める機密保持規約の同意が必要となります。

データサイエンスを活動に取り入れている法人（定員：10団体 JAIST産学官共創フォーラム会員のみ）
参加者の前提知識レベル：大学数学の統計解析レベルの実務経験者

5) 参加費

参加1団体あたり 年間7万円（税込） ※1団体から複数の人が参加できます